

プログラム名	環境面から見た持続可能な開発目標SDGsについて	認定CPD	2単位
開催日	2020年6月15日（月） 15：30～17：00		
開催場所	名古屋市中区丸の内1-15-15 桜通ビル6F LECホール		
講師	名古屋市環境局環境企画部環境企画課 主査 尾上 圭氏		
担当理事	企画委員会 副代表理事 成田益美	その他	
参加者	NSK会員とその所員、建築団体、一般の方 申込53名 参加者50名（会場14名 WEB36名 及び10数人のWEB同席参加） CPD参加者 31名		
備考			

『環境面から見た持続可能な開発目標SDGsについて』と題して名古屋市環境局 尾上 圭氏を招き、オンライン会議システムZOOMを用いた初めてのWEB講演会を開催した。

SDGsとはSustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月国連の持続可能な開発サミットで採択された。このSDGsの17のゴールと、普遍性、包摂性、参画型、統合性、透明性の5つの特徴を理解し、ビジネスに生かすことが出来るよう自治体の取組も踏まえた解説がされた。地方創生において自治体SDGsの推進が、経済・社会・環境の三側面を統合する施策であり、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立につながるということであった。なかでも、SDGs未来都市並びに自治体SDGsモデル事業についての解説は、持続可能なまちづくりという観点から、非常に興味深く参考になった。

企業が事業活動するうえで、環境の持続可能性を意識した取組を実践することは、企業を持続可能なものとする上で不可欠であり、潜在的なリスクと新たなビジネスチャンスを見つけることができるツールとしてSDGsを活用することができるとわかった。建築産業における取組とSDGsの関係として、健康住宅の推進、省エネ建築の推進、イノベーションによる建築産業の活性化、等々いくつものゴールにつながる事例が挙げられ、今後の建築設計業界の事業展開にもSDGsが深く関わって来ると理解できた。

環境面からみたSDGsの取組としては、SDGsの環境分野が経済・社会を下支えしており、健全で恵み豊かな環境基盤の上に経済・社会活動が存在することに改めて気づかされた。

質疑応答もオンラインで映像と声によるやりとりができ、ほぼ予定時刻に終了した。CPD参加確認も、参加者の協力もあり映像にて確認がスムーズにできた。

初めてのWEB講演会開催ということで、機器・通信の確認やWEBアプリの研究などに準備時間を多く要したが、今回の経験を踏まえ、今後のWEB講演会に生かすことが期待できる。

講演会終了後、参加者からのお礼のメールや声もあり、参加者の関心が高く、多くの好評価をいただいた。

講演会終了後の懇親会は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、今回は開催しなかった。

